

第14回肝付町生涯学習大会

2月24日、町文化センターで第14回肝付町生涯学習大会が開催されました。大会は生涯学習功労者や長寿大学皆勤賞などの表彰から始まりました。

次に、まなび発表として住みよいまちづくりを考え、活動している宮富地区の取り組みの紹介や地域の大きなイベントとなった国見楽Caféによる国見竹灯籠まつり誕生までの軌跡の紹介などが各代表者によって発表されました。また、町内の小・中学生による弁論では平和学習や交流学習を題材として、体験を振り返りながら元気よく話していました。

そして、フリーアナウンサーの小島慶子さんによる文化講演会は「失敗バンザイ！」失言から始まるコミュニケーションを演題に、小島さんがフリーのアナウンサーに転向した時の経験談や現在オーストラリアでの移住生活をしながら日本で活動をしていることなど、実体験を通して、失敗は次につながる大切な機会であることを語っていただきました。会場は、小島さんの華やかに澄んだ声が響き渡り、観客は聴き入っていました。



英語が好きな人集まれ！文化センターで英会話教室

町文化センターの第3会議室では、第1・第3木曜日の午後7時30分から英会話で盛り上がっています。

これは10年以上前から英語好きな有志が集まる自発的な勉強会で、これまで町で活動したALT（外国語指導助手）がボランティアで講師として参加者に教えています。

参加者の皆さんは英語に触れる機会を求めて、月2回の英会話教室を楽しんでいます。

英語が全く話せなくても、楽しく学ぶことをモットーとしているそうです。興味のある方は、ぜひ一度参加してみてくださいはいかがでしょうか。



県トラック協会から定規贈呈

2月26日、町文化センターで鹿児島県トラック協会の中村利秋会長から、新一年生への交通安全防止の啓発活動として定規が贈呈されました。

この定規には、通学に不慣れな子どもたちに交通マナーを学んでもらうため、横断歩道を渡る際の注意点や通学路などの標識が描かれています。

子どもたちの無事故で安全な通学が続くよう、毎年の事業として活動されている県トラック協会に、厚く感謝申し上げます。